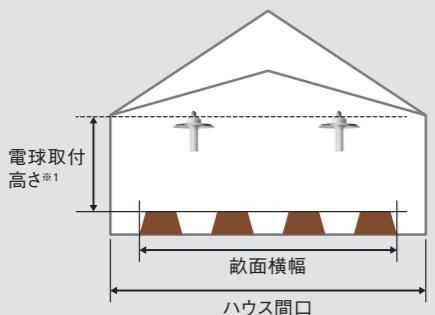


Panasonic

設置プラン作成については、下記項目に必要事項をご記入いただき
フリーダイヤルまでお問い合わせください。

対象ハウス	本園	苗場	ハウス棟数	单棟の場合	棟
イチゴ品種	紅ほっぺ	その他	連棟の場合	連棟	

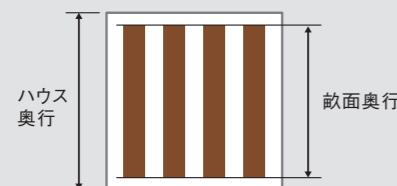
1 間口の確認



ハウス間口	m
隙面横幅	m
電球取付高さ*1	m

*1 ソケットの下面から歓までの距離。

2 奥行の確認



ハウス奥行	m
隙面奥行	m

UV-B電球形蛍光灯 商品ラインアップ

タイプ	外観	品番(上段) POS(下段)	価格	入り数 (1キットあたり)	ランプ寸法 (mm)	質量 (g)	口金	取付高さの 目安*1(cm)	周波数 (Hz)	定格電圧 (V)	定格電流 (A)	定格消費 電力(W)	紫外線強度 維持率(%)	寿命(h) (平均値*2)
A タイプ		SPWFD24UB2PA	オープン 価格	6	Φ60.5× 162	187	E26	150~ 200	50/60 共用	100	0.37	24	60以上	4500
		4549980225325												
B (在庫限り)		SPWFD24UB2PB	オープン 価格	6	Φ60.5× 162	147	E26	120~ 150	50/60 共用	100	0.37	24	60以上	4500
		4549980225323												
E タイプ		SPWFD23UB4PE	オープン 価格	3	Φ76× 192	240	E26	120~ 150	50/60 共用	100	0.38	23	60以上	4500
		4549980762158												

*1 ソケットの下面から歓までの距離。 *2 寿命(平均値)は紫外線量に基づき設定しており、保証値ではありません。

お問い合わせはこちら

パナソニック ライティングデバイス(株) お客様相談センター



0120-878-213

※携帯電話・PHSからもご利用になれます
受付時間 9:00~17:00(平日)

ホームページはこちら <https://panasonic.co.jp/ew/pldv/f-products/UV-B/>

2023.10

ストロベリーを、
ストロングなベリーに。

イチゴの免疫機能を葉への紫外線照射で活性化。
うどんこ病等の対策をサポートします。



ムキムキは
イメージだよ!

パナソニックの
UV-B電球形蛍光灯



SPWFD24UB2PA



SPWFD24UB2PB



SPWFD23UB4PE

紫外線(UV-B)を照射し、
植物病害を防除。
農薬の散布回数を削減。



UV-B電球形蛍光灯の特長

軽量、コンパクトで
取付け・取外し簡単。



電球形蛍光灯と同形状で、E26ソケットに
取付け・取外しが可能です。

植物病害を抑制する
紫外線(UV-B)を照射。



葉への適度なUV-B照射により、イチゴの免疫機能を活性化させ、うどんこ病の発生を抑えます。

農薬散布回数を削減し、
安心・安全な農作物づくりをサポート。



UV-B照射により農薬使用量を削減。散布回数削減や人体への影響を抑えた作物を生産できます。

*この商品は病害の被害を軽減することはできますが、病害をゼロにできるものではありません。うどんこ病やハダニが発生した場合、速やかに薬散などの防除をしてください。

*エビデンス情報:福島県農業総合センター様の圃場(4m²)にてイチゴうどんこ病を抑制することを検証。

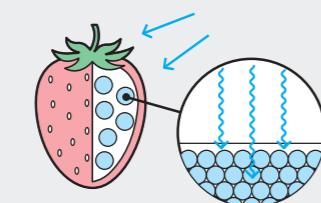
うどんこ病抑制(免疫力を高める)

1 紫外線(UV-B)の光を葉に照射



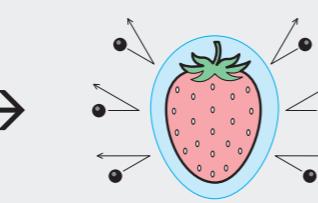
夜間1日3時間(例:0時~3時)照射

2 適度な刺激により免疫機能が活性化



遺伝子を活性化

3 植物病害(うどんこ病)の発生を抑制



イチゴ自身の免疫機能を高める

*イラストはイメージです。実際は葉に照射することで効果が得られます。

ハダニの増殖を抑制

UV-Bにはハダニ卵の孵化、発育、産卵の抑制効果があります。

反射シートとの組み合わせで、より効果的な撃退が可能です。

課題

対策

IPM(総合的病害虫管理)

UV-B反射材

天敵

UV反射材で葉裏に
UV-Bを照射※2

ハダニと天敵を
「葉裏」に追い込む



※2 試験機関:兵庫県立農林水産技術総合センター様

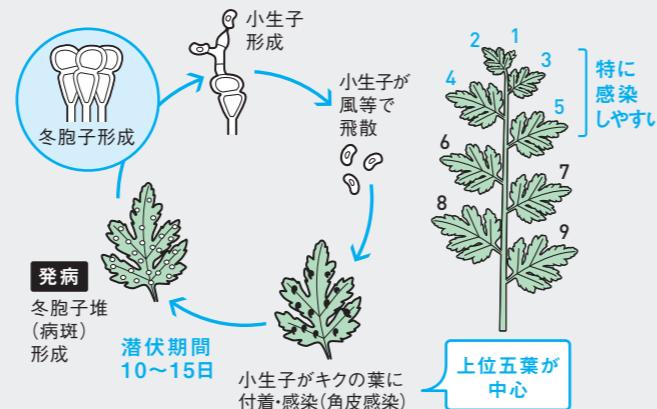
天敵例:カブリダニ

白さび病抑制

*現在、電球形での実証試験を実施中

母株・育苗圃場、低UV-B強度で長時間(朝6時終了とし、4~6時間)使用し、小生子の葉への付着・感染時の菌糸伸長を抑制(特に上位五葉)しました。

*タフナレイ(生産終了)による実証結果

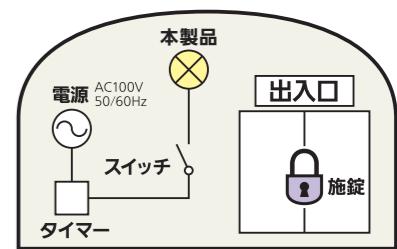


潜伏期間
10~15日
発病
冬胞子堆
(病斑)
形成
冬胞子形成
小生子
形成
小生子が
風等で
飛散
小生子が
キクの葉に
付着・感染
(角皮感染)
上位五葉が
中心
特に
感染
しやすい

設営の目安

本製品の運用方法

- 交流100V、周波数50/60Hzの電源をご使用ください。
使用可能電圧範囲:AC95~107V
- ※ケーブルの長さや仕様、本製品の設置数により、ケーブル端末で電圧が低下する場合があります。
- ※使用可能電圧範囲を下回った場合、出力不足や製品の短寿命に繋がる恐れがあります。
- 夜間3時間(例:0時~3時)の点灯を目安としてください。
- タイマーを設置し、点灯時間を管理してください。
- 施錠等により施設を管理してください。
- 出入口のそばにスイッチを設置し、ハウスに入る時は消灯してから入ってください。
- ご利用開始から4,500時間※がお取替えの目安です。
※夜間3時間で年間8か月点灯の場合、約6年間に相当します。
- ※寿命(平均値)は紫外線量に基づき設定しており、品質保証期間ではありません。



設置例

設置についての注意事項(本ぼ、苗場共通)

- 設置例はあくまで例となります。実際の設置設計にあたっては、畠(ベンチ)の配置や、ハウス内設備の配置なども考慮する必要があります。
- 連棟の場合は、隣接するランプによる光の重なりを考慮する必要があるため単棟プランの単純な足し算にはなるとは限りません。
- 苗場については、本ぼよりも強い紫外線強度が必要となります。
- 紅ほっぺなど、草高が高くなる品種は特別な設計が必要となりますのでお問合せください。

本ぼでの設置例

・周囲温度:5~40°C
・10月~5月の8ヶ月間点灯させます

[ハウス間口6m/ハウス奥行30m 電球取付高さ2.0mの場合]

<ハウスの平面図>

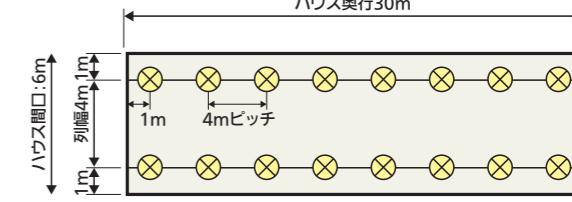


必要ランプ数量: 24セット(12セット×2列)

UV-B電球形蛍光灯セット 使用品番:SPWFD24UB2PA

[ハウス間口6m/ハウス奥行30m 電球取付高さ1.5mの場合]

<ハウスの平面図>

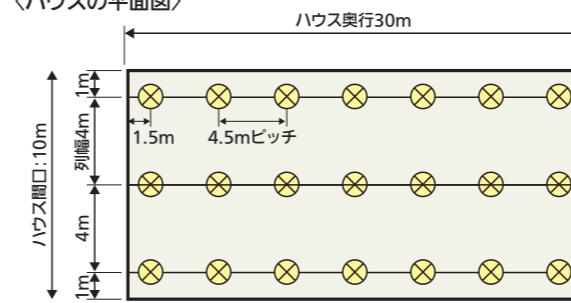


必要ランプ数量: 16セット(8セット×2列)

UV-B電球形蛍光灯セット 使用品番:SPWFD24UB2PB/SPWFD23UB4PE

[ハウス間口10m/ハウス奥行30m 電球取付高さ1.4mの場合]

<ハウスの平面図>

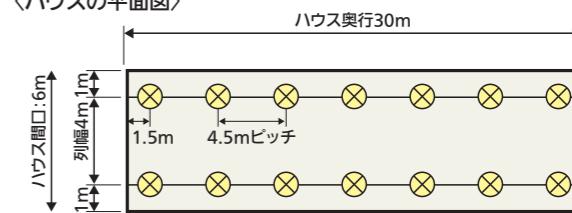


必要ランプ数量: 21セット(7セット×3列)

UV-B電球形蛍光灯セット 使用品番:SPWFD24UB2PB/SPWFD23UB4PE

[ハウス間口6m/ハウス奥行30m 電球取付高さ1.2mの場合]

<ハウスの平面図>



必要ランプ数量: 14セット(7セット×2列)

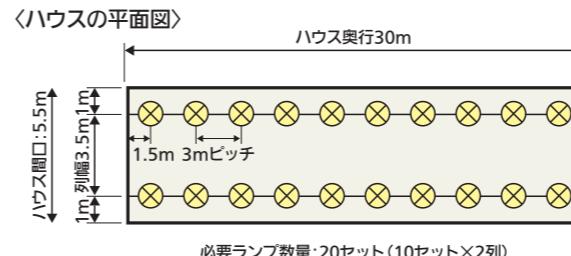
UV-B電球形蛍光灯セット 使用品番:SPWFD24UB2PB/SPWFD23UB4PE

苗場での設置例

・周囲温度:5~40°C
・育苗期となる6月中旬~9月中旬の3ヶ月間点灯させます

[ハウス間口5.5m/ハウス奥行30m 電球取付高さ1.2mの場合]

<ハウスの平面図>



必要ランプ数量: 20セット(10セット×2列)

UV-B電球形蛍光灯セット 使用品番:SPWFD24UB2PB/SPWFD23UB4PE

※電球取付高さについて



「電球取付高さ」は
ソケットの下面～
畠までの距離